

薬剤の使用に際しては、必ず商品の説明書をよく読んで、記載内容に従ってお使いください。
最新の適用病害虫名・対象作物名については、[メーカーのホームページ](#)をご参照、または、お問い合わせください。
(こちらに掲載している内容は、2025年4月現在の内容です)

石原フロンサイド粉剤

有効成分：フルアジナム…0.50%
農林水産省登録 第 17559 号

作物名	適用病害名	使用量★	使用時期	本 剤 の 使 用回数	使用方法	フルアジナムを含む 農薬の使用回数
キャベツ	根こぶ病	15 ～ 20kg/10a		2 回 以 内 (但し、苗 床では 1 回以内、本 圃では 1 回以内)	作条土壌混和	3 回以内(但し、苗床で は 1 回以内、本圃での 土壌混和は 1 回以内、 土壌散布は 1 回以内)
		30 ～ 40kg/10a			全面土壌混和	
	苗立枯病(リ ゾクトニア 菌)、菌核病	40kg/10a				
はくさい	黄化病、根こ ぶ病	30 ～ 40kg/10a	は種又は 定植前	1 回		2 回以内(但し、土壌混 和は 1 回以内、土壌散 布は 1 回以内)
	根こぶ病	15 ～ 20kg/10a				
カリフラワー、ブロッ コリー		根こぶ病			30 ～ 40kg/10a	全面土壌混和
非結球あぶらな科葉 菜類(ケール、こまつ な、みずな、のぎわな、 なばな類を除く)、メ キャベツ、かぶ						
こまつな	根こぶ病、立 枯病(リゾク トニア菌)	30kg/10a	は種前		全面土壌混和	1 回
みずな	根こぶ病	30 ～ 40kg/10a	は種又は 定植前			
のぎわな					20kg/10a	作条土壌混和

なばな類		40kg/10a			作条散布	
		15 ～ 20kg/10a			作条土壌混和	
		30 ～ 40kg/10a			全面土壌混和	
かんしょ	基腐病	40kg/10a	植付前			6 回以内(但し、種いも浸漬は 1 回以内、植付前の土壌混和及び植付時の植溝散布は合計 1 回以内、植付後の散布は 4 回以内)
ばれいしょ	そうか病、粉状そうか病	30 ～ 40kg/10a				2 回以内(但し、土壌混和は 1 回以内、土壌散布は 1 回以内)
レタス、非結球レタス	すそ枯病、ビッグベイン病	30kg/10a	は種又は定植前			7 回以内(但し、全面土壌混和は 1 回以内、苗根部浸漬は 1 回以内、散布は 5 回以内)
たまねぎ	黒腐菌核病、紅色根腐病	40kg/10a	定植前	株元散布	2 回以内	
ねぎ	白絹病、小菌核腐敗病	15kg/10a	土寄せ時 (但し、収穫 21 日前まで)		2 回以内	
にら	白絹病	20kg/10a	収穫 30 日前まで		1 回	1 回
らっかせい			収穫 45 日前まで			
だいこん	亀裂褐変症 (リゾクトニア菌)	30 ～ 40kg/10a	は種前	全面土壌混和	7 回以内	
チューリップ	葉腐病		植付前			

	条斑病、微斑 モザイク病					
ゆり	茎腐症(リゾ ープス菌によ る)	40kg/10a	定植前			3 回以内
てんさい	叢根病	育苗培土 1kg 当り 5 ~10g	は種前		土壌混和	5 回以内(但し、は種前 の土壌混和及び苗床 灌注は合計 1 回以内、 株元散布及び散布は 合計 4 回以内)

★使用量の単位の読み替え方：「kg/10a」=「g/m²」（例 30~40kg/10a=30~40g/m²）

- ・2018 年 10 月 10 日付：キャベツの変更
- ・2021 年 09 月 08 日付：てんさい、非結球あぶらな科葉菜類の変更
- ・2022 年 03 月 17 日付：かんしょの追加
- ・2023 年 06 月 07 日付：かんしょの変更
- ・2023 年 12 月 06 日付：非結球あぶらな科葉菜類の変更。たまねぎ、なばな類の追加

●効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
- 砕土をよく行った後、所定量の薬剤を均一に散布し、土壌と十分混和してください。なお、降雨直後の処理はしないでください(混和むら)。
- 根こぶ病を対象に多量に使用すると初期生育が抑制される場合があるので、適用薬量の範囲で使用してください。
- はくさいの黄化病、ばれいしょのそうか病、粉状そうか病、キャベツの苗立枯病(リゾクトニア菌)、菌核病、レタスのビッグベイン病に対する全面土壌混和及びねぎの小菌核腐敗病に対する土寄せ時株元散布は、多発生条件では効果が劣る場合があるので注意してください。
- レタスの茎葉に多量にかけると薬害を生じるおそれがあるので、付近にある場合は注意して散布してください。
- みずかけなに使用する場合、水掛け開始は薬剤処理後 2 ヶ月以降を厳守してください。
- てんさいに使用する場合、誤って多量に処理すると初期生育が抑制される恐れがあるので適用薬量の範囲を厳守してください。
- 使用量、使用時期、使用方法などを守ってください。本剤を適用作物群に属する作物又はその新品種に使用する場合、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用する。なお、病害虫防除所または販売店と相談することが望ましいです。

●安全使用上の注意

- 体調のすぐれない時は散布しないでください。
- 眼に入らないように注意してください。眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください(刺激性)。
- かぶれやすい人は取扱いに十分注意してください。
- 使用時は、農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。
- 作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 桑葉にかからないように注意してください(蚕毒)。
- 作業時に着用していた衣服は他と分けて洗濯してください。
- 苗床で使用し、その苗を採苗、定植する場合には、必ず手袋を着用して作業を行い、直接苗に触れないよう注意してください。
- 使用後の空容器は良くたたいて中身を完全に出してから処理してください。
魚毒性等：河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意してください(魚類)。

薬剤の使用に関する注意事項

適正かつ安全に使用していただくため基本的な注意事項をご案内します。

[薬剤の使用に関する注意事項](#)